社会課題の解決提案

アケボノクラウン秋の見本市

Eコマースへの特別企画も

株式会社アケボノクラウン（松本圭司社長、東大阪市）は、10月16日、大阪市中央区のOMMビルで「西日本最大級のオフィス用品の祭典、秋の見本市」を開催、関西エリアを中心に沖縄、九州、中四国、北陸など有力店800社1100人の来場で、活発な商談を行った。

挨拶する松本社長

開会式で、松本社長は「大阪・関西万博が閉幕し、平常の大阪に戻った。コロナ禍が明け、久しぶりに届いた結婚式の招待状は、添付されたQRコードをスマートフォンで読み取り、出欠の返事や食物アレルギーなどを記入する方式で、面倒だと思っていた葉書の記入がなく、改善されていた。会場では、このような社会の変化に対応し、特別企画『いま、解決すべき社会問題への対策と提案』コーナーを展開しているが、これらの社会課題を解決するビジネスを柱に提案していきたい。創業79年目にあたる第77期は、創業以来の好成績で終えることができた。来年の80周年に向けてさらに邁進したい。クラウングループ各社も前年を上回る好成績を上げている。北海道クラウン、東京クラウン、青雲クラウンの各社社長に出席いただいており、グループ力を最大化していきたい」と挨拶。

社会問題への対策と提案コーナー

続いて、シヤチハタ・舟橋正剛社長が「創業100周年を迎えた弊社に出展社代表挨拶を指名いただき、大変光栄に感じている。米国出張で2年振りに販売店を回ったが、ステープルズ、ウォールマートの店内は相変わらず暗く、代わり映えしない品揃えと陳列だった。一方、ダイソーの100円ショップは照明も明るく、商品のバリエーションも豊富で見ていても楽しい、買いたくなる売り場づくりがされていた。日本人が持つ感性を取り込んだ店づくりが実現されている。同様に日本人の感性や趣向性が多彩な商品を生み出しているのだと気づいた。弊社においては創業100周年を第二の創業期ととらえており、新たな取り組みや感動する商品、サービスを届けていきたい」と挨拶。

この後、主催者、来賓と関西の有力販売店が参加してテープカットを行い、銅鑼の音と同時に開場した。

会場には新規6社を加えて、163社が出展、年度需要に向けて新製品や売れ筋商品、販促企画を提案した。

特別企画では、EC・店頭向けの「Eコマース・ストア特別展示コーナー」と、納品店向けの「いま、解決すべき社会問題への対策と提案」のコーナーを展開。

「Eコマース・ストア特別展示コーナー」では、四季の定番商品を提案する「年間売れ筋商品カレンダー」、平成時代に流行した文具を一挙展示した「平成レトロ文具」、大阪・関西万博閉幕後も拡がる「インバウンドアイテム」を提案。

「いま、解決すべき社会問題への対策と提案」のコーナーでは、南海トラフに備えた最新防災用品、販促ノベルティ、オリジナル販促×企画の3つのテーマを柱に展開。このうち、オリジナル販促×企画では販売推進課の役割と支援内容を紹介、活用を呼び掛けた。

松本社長は「第79期は売上、利益ともに増収増益で終了。創業以来一番の売上を達成できた。来年5月1日に迎える創業80周年を飾れるよう頑張っていきたい」と語った。

「顧客体験価値」キーワードに

青雲クラウンフェア　基盤の文具を固めて

株式会社青雲クラウン（青山英生社長、名古屋市）の「クラウンオータムフェア2025」は、10月8日に名古屋市千種区の名古屋市中小企業振興会館第1、第2ファッション展示場で開催、ステーショナリー、IT・DX関連、ファニチャーなど、多彩な商材を網羅して会場を構成し、活発な秋需商戦を展開した。また、翌日のソリューションフェアでは販売店を通じて来場したユーザーが各社の商材を熱心に見学した。

挨拶する青山社長

当日は8時50分より毛利祐三常務が司会してオープニングセレモニーを行い、青山社長が「今回のフェアは販売店390社、780人の来場を予定している。出展社は155社でこのうち新規出展は10社。フェアのキーワードを〝顧客体験価値〟と設定した。CXなどが言われているが、リアルな見本市を開催する以上、この会場内で顧客体験を創出したい。メーカーの協力を得て、これだけ多くの商品が展示されているが、我々がいかにメルマガやSNSで発信しても今日にかなう日はないだろうと思う。モノによっては、触れてもらい、体験してもらい、これからの商談の種を撒いてほしい。今回初の体験として明日のユーザーフェアで即売コーナーを設けた。即売にあたっては事前に小売組合にも確認した。ユーザーフェアでは、その日に購入できないかという声もあったことから、シール関連を中心にBtoCの色々な形のものを発信していく。当社が展開している〝文具SEIUNDO〟というSNSがあるがアクセスも増えている。防災コーナーでは名古屋市消防局からの救急講習、防災カフェでは防災食の試食も行ってもらう。ソリューションカフェも設けている。また、月間マイクロソフトに当社を取り上げてもらった。会場では大型のお掃除ロボの実演も行う。まず基盤である文具を固め、幅広い形で得意先とコンタクトを持ち、メーカーに還元したい。来年のフェアは、名古屋で陸上のアジア大会があるため、5月から10月まで吹上ホールの予約ができなくなり、このため10月14、15日に名古屋駅前の会場を確保したが、15日には大阪のアケボノクラウンの見本市と重なるので、違う形での開催を考えている」と挨拶した。

活発に秋需商戦を展開したフェア会場

次に出展社を代表して株式会社トンボ鉛筆・福嶋潤一社長が祝辞を述べた。

今回のフェアには東西の有力メーカー155社が出展。会場は第1ファッション展示場に、文具・事務用品関連、3階の第2ファッション展示場にはオフィス家具、事務機器関連を設営し、それぞれに関連した注目商材を展示してアピールしたほか、愛知文具屋大賞の受賞商品展示、名古屋市消防局による心臓マッサージの講習会、防災食の試食コーナーも設けた。

青山社長は「今回は10社の新規出展社を含め、ITソリューション系のメーカーが増えた。今日は展示だけだが、明日のソリューションフェアではシールなどの即売も行う。会場には20代、30代の社員がマイクロソフト社から取材された記事を紹介している。明日のセミナーもマイクロソフトから担当者が講師となって開催するが、これは文具卸としては初めてだと思う。新規出展社の商材は販売店の新しいビジネスに繋がればと思う」とした。

なお、翌3日には販売店を通じて一般ユーザーを対象とした「BUSINESS Solution 2025」を開催した。

東京支店が移転

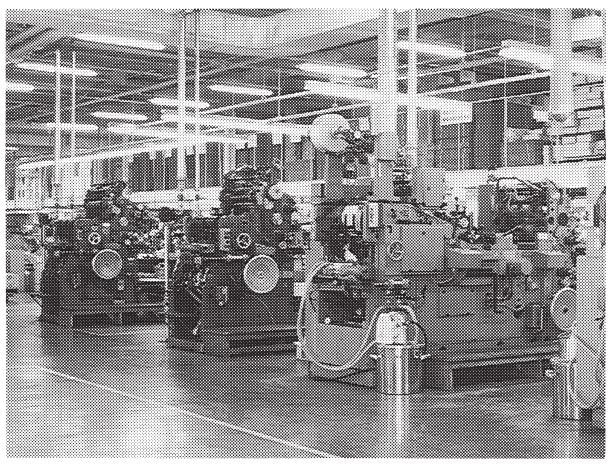
○…アスカ　株式会社アスカ（森田浩揮社長、名古屋市）は、東京・江東区の東京支店を移転、中央区日本橋に新たな拠点を設けた。江東区にある従来の東京支店は「アスカ江東カスタマーリレーションセンター」としてリスタートする。

【アスカ東京支店】新住所＝東京都中央区日本橋大伝馬町4―7　アスカ日本橋小伝馬町ビル4階【アスカ江東カスタマーリレーションセンター】東京都江東区東砂7―15―4　電話、FAX番号は従来通り。

東神田に移転

○…日本クリノス　エコール流通グループ株式会社の関連子会社、株式会社日本クリノス（木野清彦社長、東京都）は、千代田区東神田に移転した。

新住所は東京都千代田区東神田2丁目7―9U・Yビル6階。電話、FAX番号は従来通り。

充実した生産設備で
カラー封筒
セロ窓封筒

コーキ封筒株式会社
〒584-0023 大阪府富田林市若松町東3丁目7番8号
TEL0721-25-7210（代表）
FAX0721-25-9484

オリジナル工房　プロが仕上げるオリジナル!!
別製品・ノベルティはおまかせください。
ご希望の方にはカタログをさし上げます。
存在感のあるビジネスツールを提案します。
翔びます、ユニークな存在に!!
エコーマインド株式会社
本　社　〒536-0023 大阪市城東区東中浜9丁目1-5　TEL(06)6962-6081(代)　FAX(06)6968-0810
ホームページ　http://www.echomind.co.jp

ニッケン文具株式会社
本　社　〒577-0013 東大阪市長田中4丁目5番44号
TEL(06)6747-7711・FAX(06)6747-5557
代表取締役社長　德弘　恭子
第一支店・第二支店・関西支店
第七支店・なみはや支店・SRD事業部
東京支店・関東支店・東支店・名古屋支店
四国支店・九州支店・札幌支店
グループ会社　株式会社 エヌケイ深井

封筒は企業の「顔」。
私たちは
企業の顔を大切にします。
富士封筒
ISO9001
ISO14001
認証取得
FUJIX フジックス株式会社
http://www.fujix-kk.com
本　　社／〒577-0066　東大阪市高井田本通2-7-18　TEL.(06)6784-3900(代)　FAX.(06)6784-4100
東京営業所／〒140-0002　東京都品川区東品川1-25-3　TEL.(03)5495-7521(代)　FAX.(03)5495-0622
名古屋営業所／〒460-0002　名古屋市中区丸の内1-7-6　TEL.(052)209-5580(代)　FAX.(052)204-3200